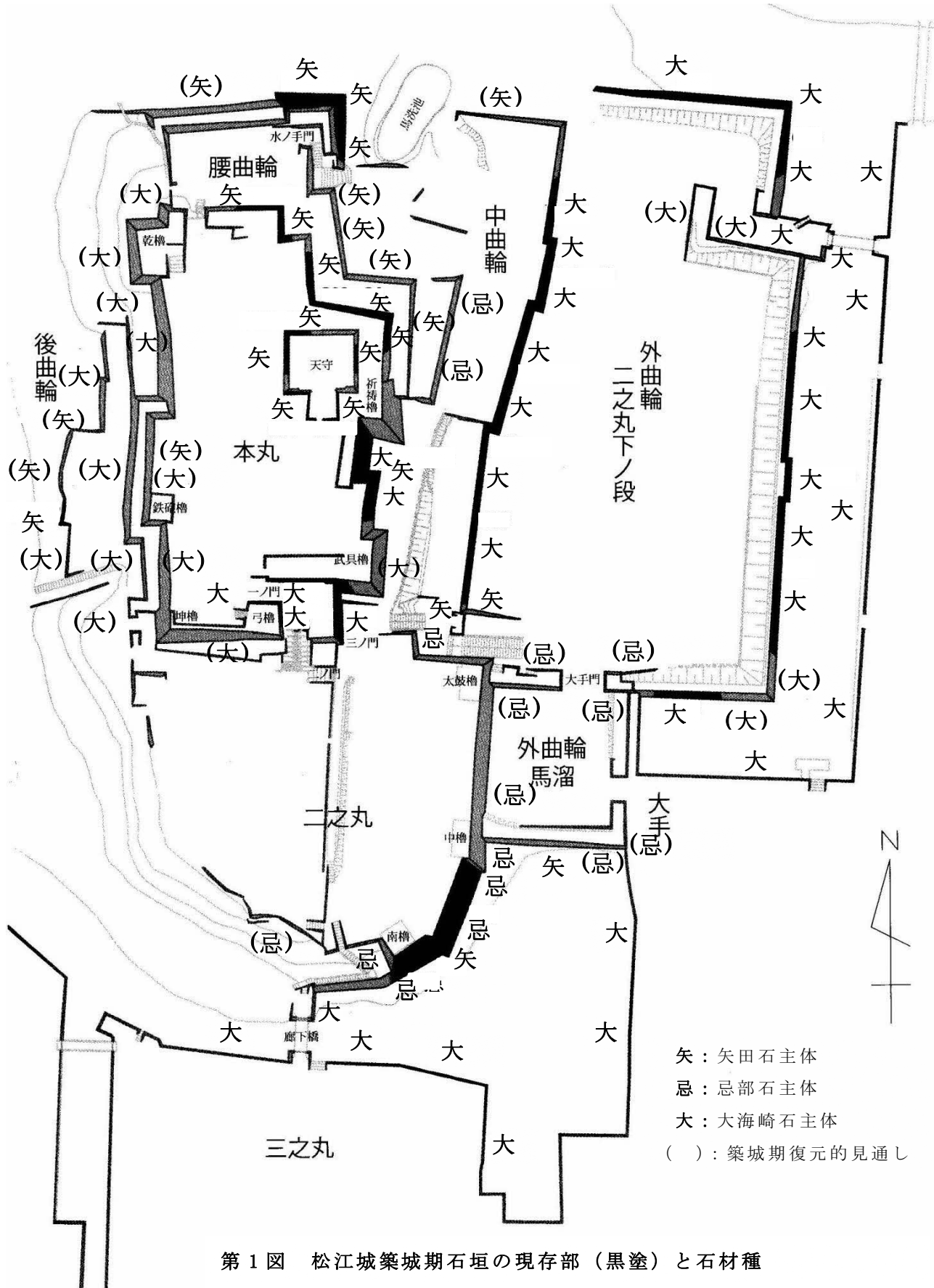


松江城の石垣を読み解くー石材の調達と刻印を中心にー

乗岡 実

1. はじめに
2. 松江城の石垣ー築城期の石垣と改修石垣ー
3. 石材の種類と分布
 - (1) 岩石種の同定ー矢田石・忌部石・大海崎石、森山石ー
肉眼観察や帯磁率測定
 - (2) 築城期における分布の偏在
工程の反映か、見た目の色の違いも
 - (3) 改修石垣の岩石種と石材加工
4. 矢穴技法による割石
 - (1) 石垣石材の割り面分布
築城期では部位や岩石種によって偏差
 - (2) 想定される採石法
転石分割ー自然面も多く残るー
 - (3) 矢穴技法の実際ー矢穴痕を分析する 法量分布・形状・密度などー
 - A：築城期
 - B：改修石垣
5. 築城期の採石地ー場所の絞り込みと採石パターン
 - (1) 矢田石
 - (2) 忌部石
 - (3) 大海崎石
6. 矢穴技法の他城との比較から松江城石垣石の採石や分割技術の特徴を探る
 - (1) 出雲国内の城との比較
 - (2) 年代が異なる岡山城や同じ慶長期に築かれた各地の城との比較
7. 松江城石垣石の刻印を読み解く
 - (1) 刻印とはー松江城では殆どが堀尾氏による築城（慶長）期のものー
 - (2) 刻印が施される場所と刻印の種類
 - (3) 分布の偏りに示される普請工区と協業のありかたー松江城での実体と他城との比較ー
8. おわりにー松江城石垣がもつ歴史的な価値ー



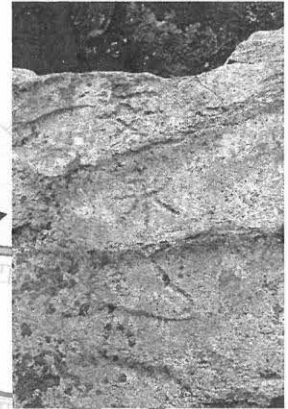
第1図 松江城築城期石垣の現存部（黒塗）と石材種



6. 腰曲輪北西隅下段 (C20・22)
大御崎石



7. 腰曲輪北西隅上段 (C23・24)
大御崎石・森山石



4. 安永八銘石材 (D17)
大海崎石



5. 本丸西辺 (B42・43)
大海崎石
後曲輪



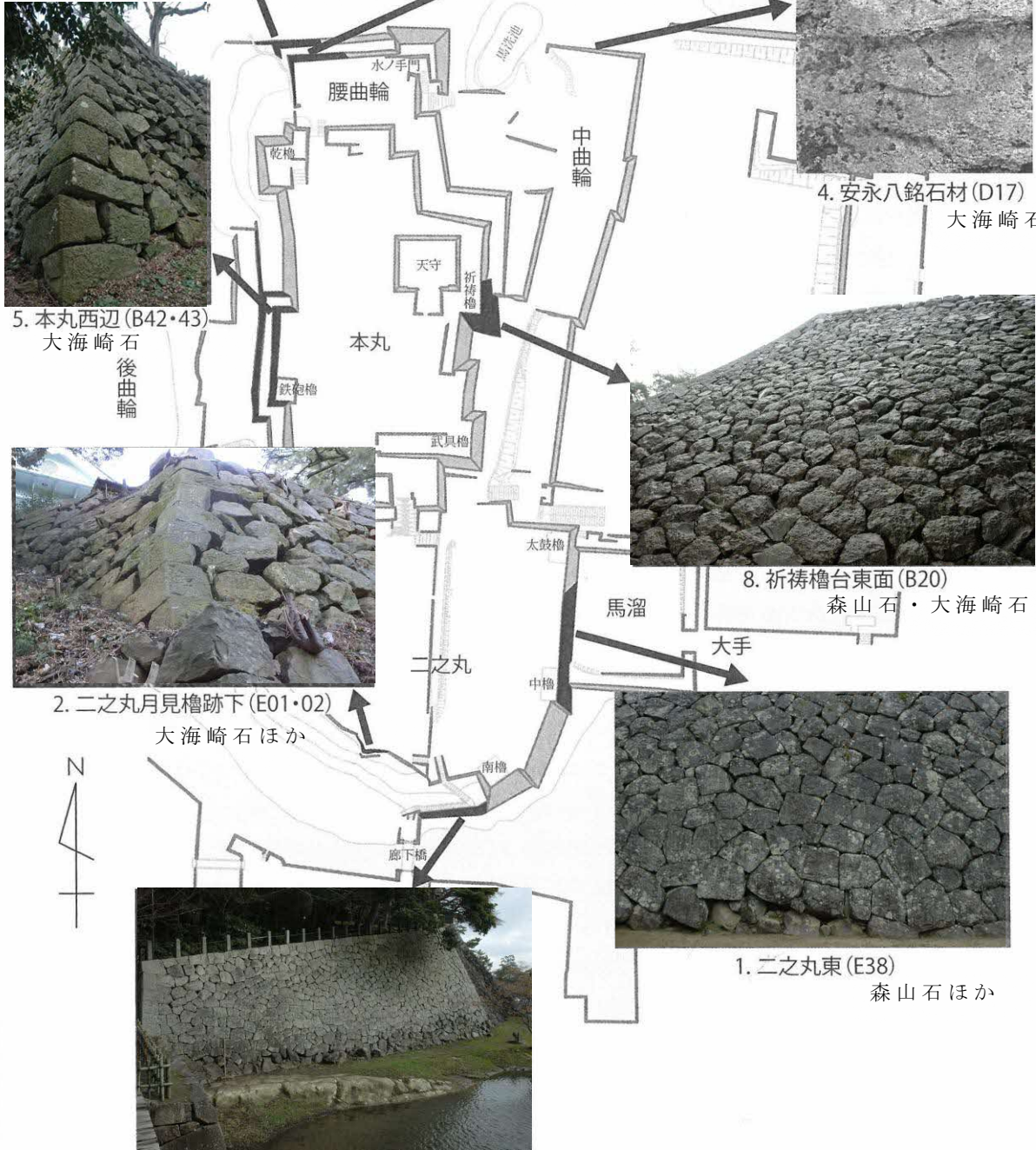
2. 二之丸月見櫓跡下 (E01・02)
大海崎石ほか



8. 祈禱櫓台東面 (B20)
森山石・大海崎石

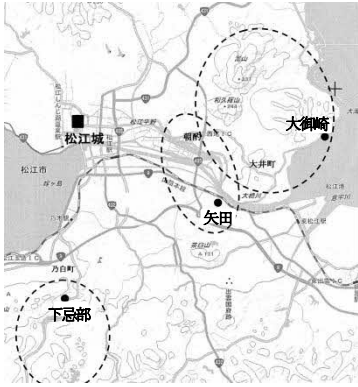


1. 二之丸東 (E38)
森山石ほか

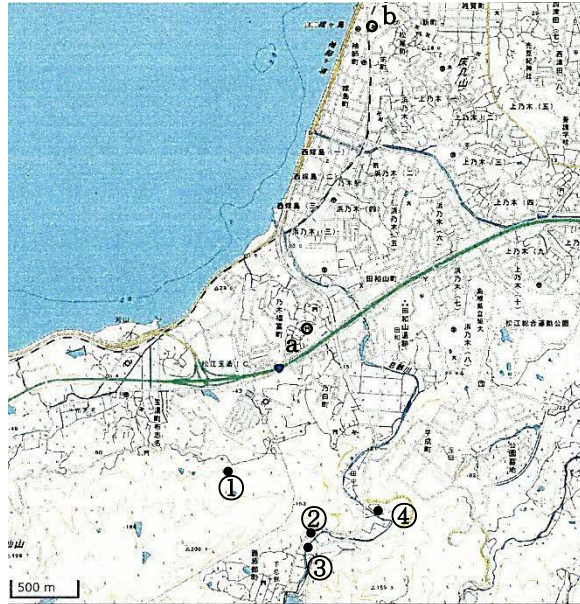


3. 二之丸廊下橋北詰 (E33)
森山石・大海崎石

第2図 江戸時代の改修による新様式石垣

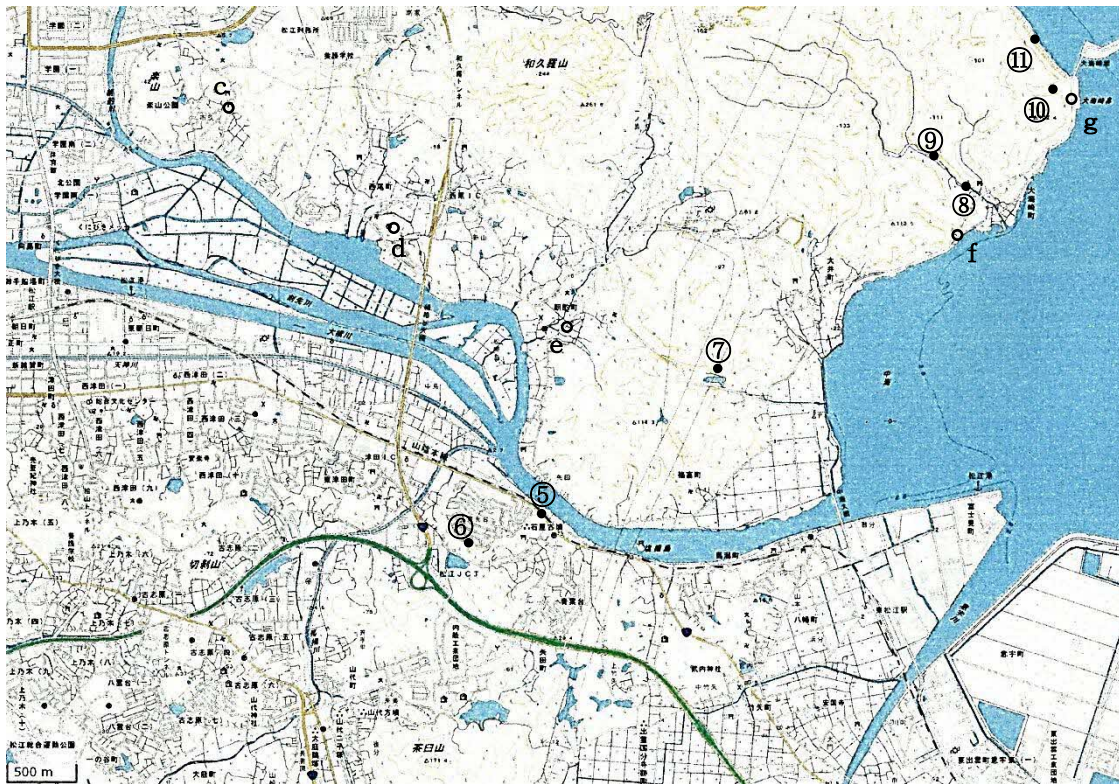


第3図 築城期各石材の産出地



第4図 忌部石の採石場参考地・石材所在地

- ①乃白町山中の沢、②下忌部近現代の採石場、③下忌部の忌部川河床、
④東忌部町の近現代の採石場・忌部川河床
a 野白神社石垣、b 圓成寺



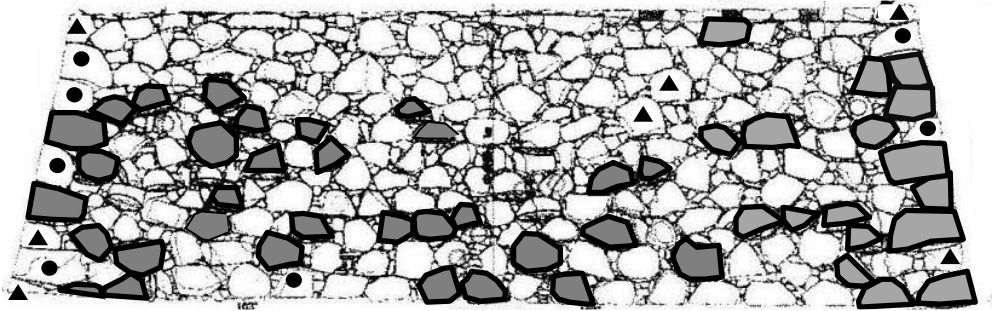
第5図 矢田石・大海崎石の採石場参考地・石材所在地

矢田石：⑤東津田山裾の集石地、⑥東光台団地内産出地

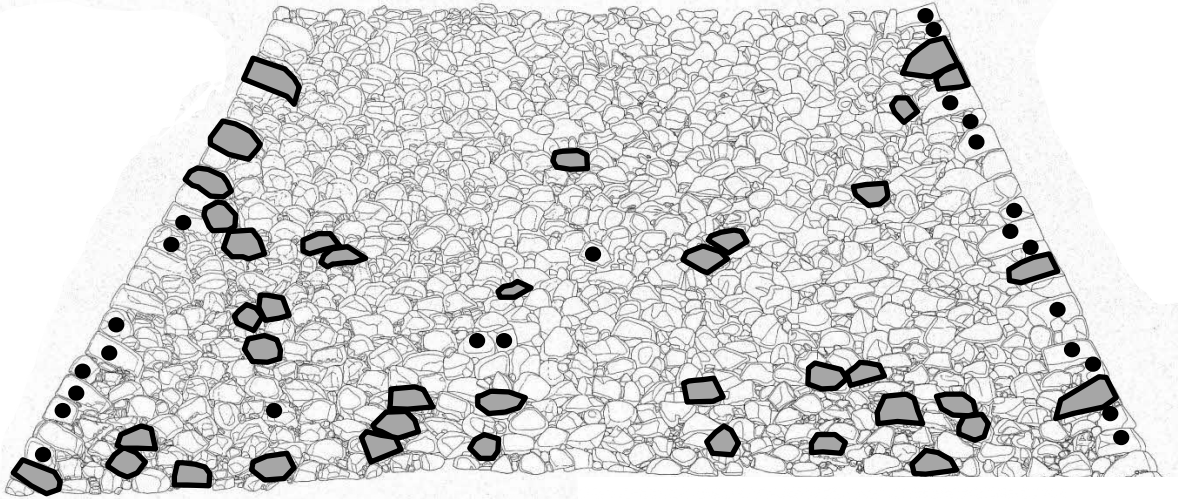
大海崎石：⑦大井岩汐池脇の採石場跡、⑧大海崎十二所神社脇の谷、⑨大海崎宮脇の近現代採石場跡、⑩大海崎・障子谷、
⑪大海崎橋北西の海岸

c 熊野神社石垣、d 東照宮・圓流寺の矢穴石(皆美が丘女子高校敷地内)、e 朝酌下組の民家矢穴石、

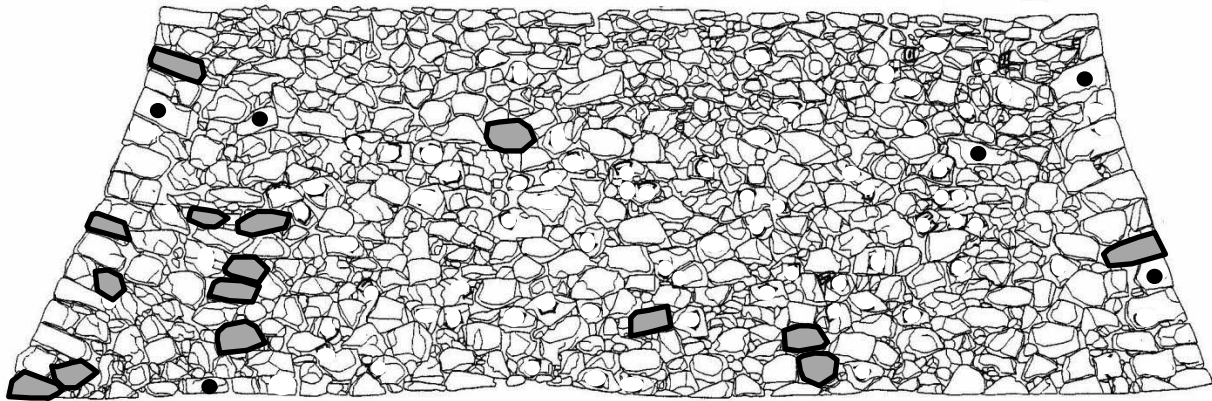
f 大海崎・向平の海岸護岸石垣、g 障子谷の入口の矢穴石



1. 天守台西面 (A07) : 矢田石主体



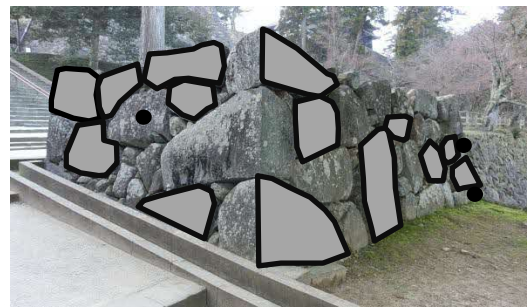
2. 腰曲輪北東部北面C18) : 矢田石



3. 中曲輪東面櫓台状部東面 ((D14) : 大海崎石



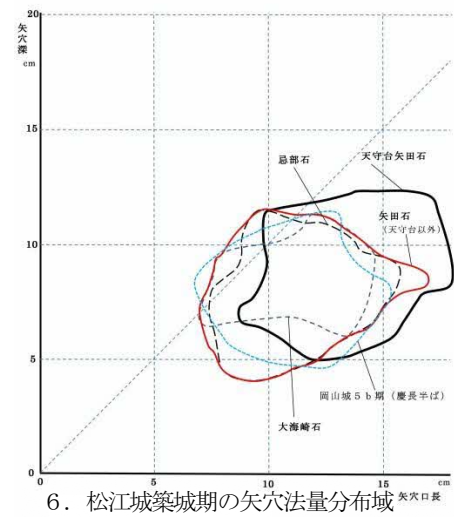
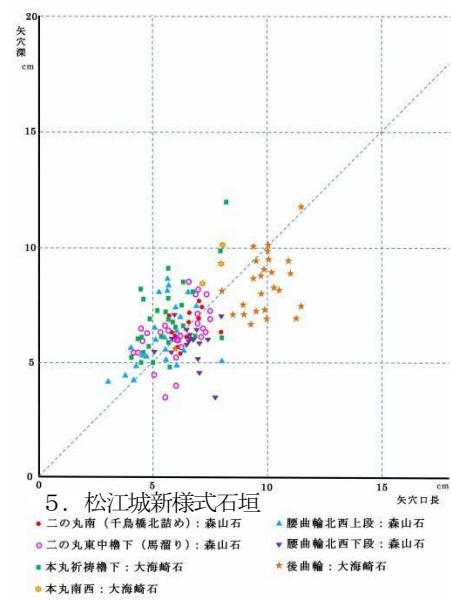
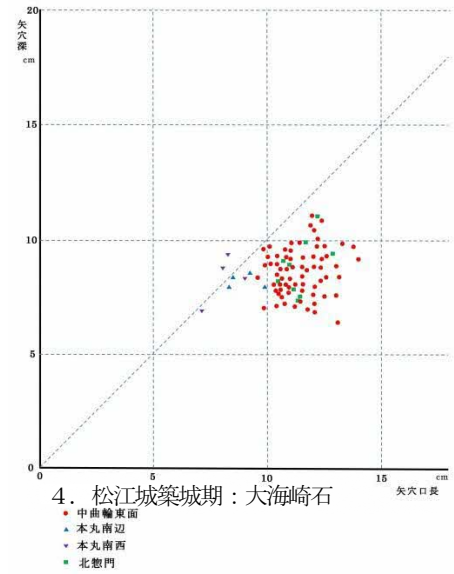
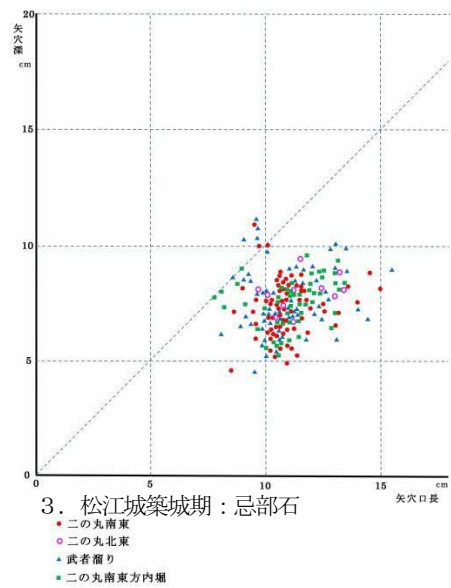
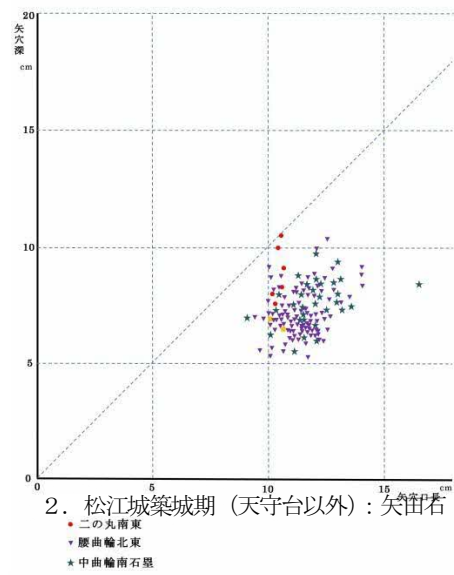
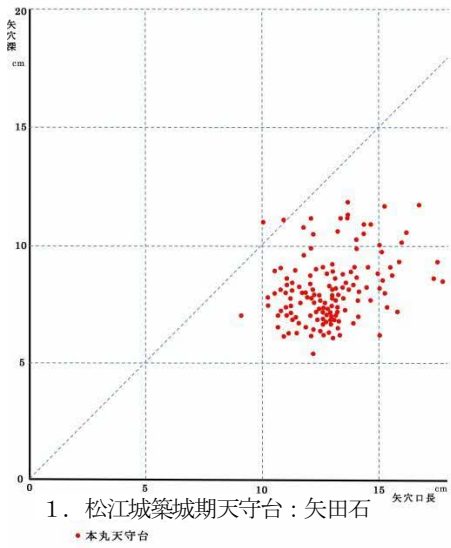
4. 本丸南辺一ノ門脇 (B11 西) : 大海崎石主体



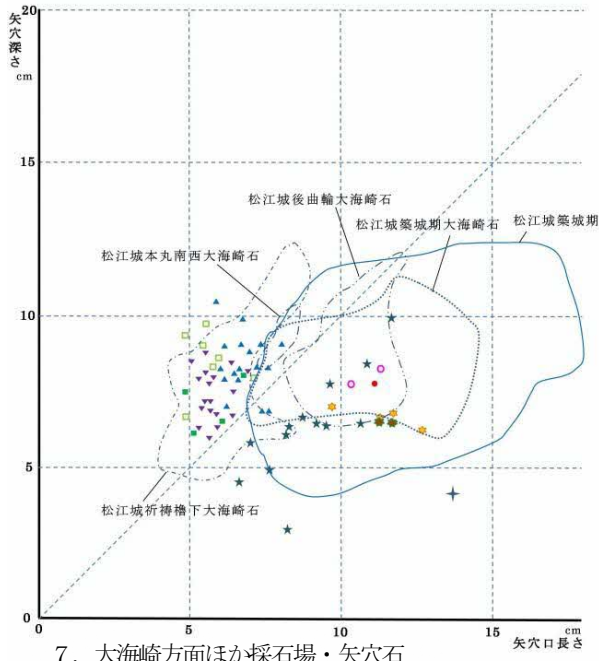
5. 中曲輪南端石塁 (D7・8) : 矢田石

■ : 矢穴技法による剖面、● : 石垣面以外の面に矢穴 (左記以外)、▲ : 矢穴痕が確認できない鋭い剖面 (左記以外)

第6図 松江城各石垣中の割り面分布

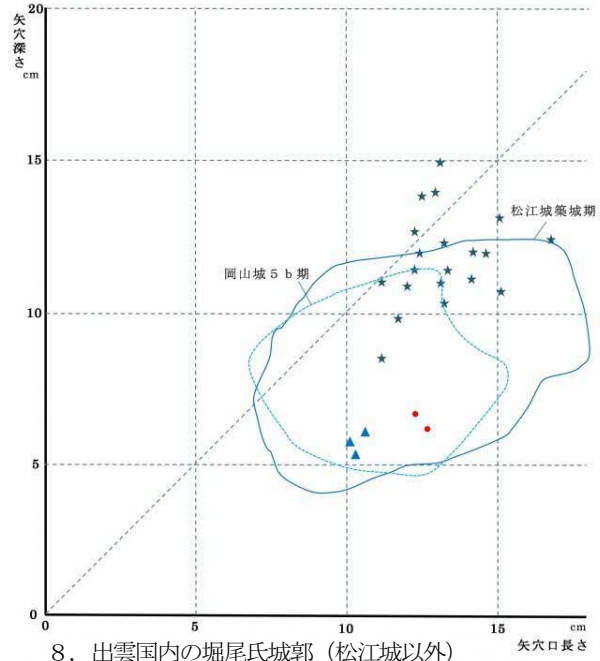


第7図 松江城石垣石材の矢穴法量分布



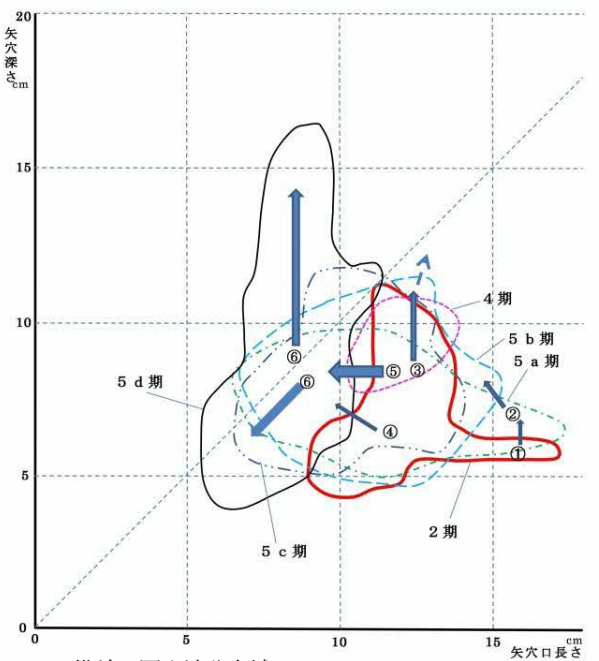
7. 大海崎方面ほか採石場・矢穴石

- 大海崎障子谷口転石
- 大海崎海岸護岸石垣石
- ▲ 岩汐池脇採石場跡A群
- ▼ 岩汐池脇採石場跡B群
- 岩汐池脇採石場跡C群
- 岩汐池脇採石場跡D群
- 東照宮・圓流寺跡転石
- ★ 熊野神社石垣
- ✦ 朝酌下組民家石
- (以上は大海崎石)
- 圓成寺景石(总部石)

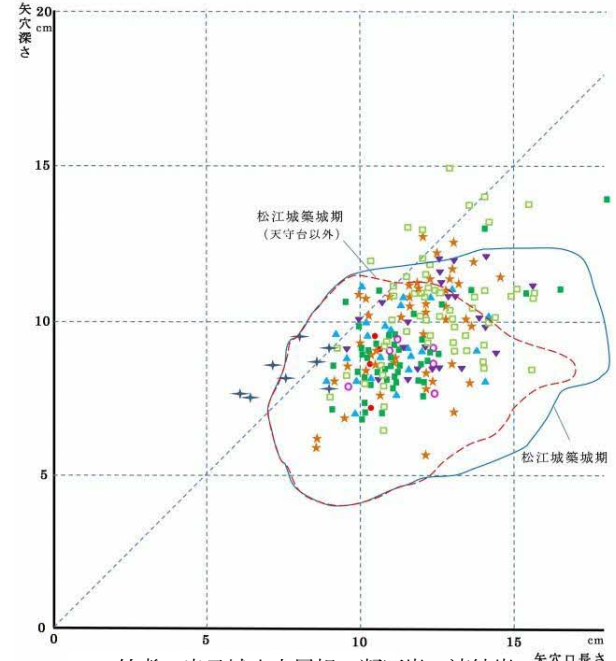


8. 出雲国内の堀尾氏城郭(松江城以外)

- 富田城：花崗岩
- ★ 三刀屋城：花崗岩
- ▲ 瀬戸山城：花崗岩

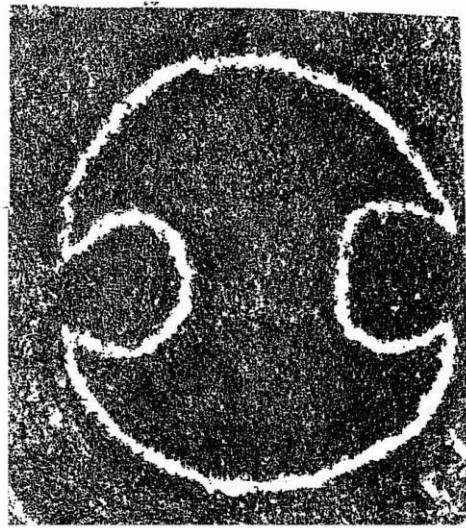


9. 備前・岡山城分布域：花崗岩 矢印は変化の方向
- 2期：本丸 天正後葉
 - 4期：本丸 慶長
 - 5 a 期：祖廟 慶長
 - 5 b 期：西の丸 慶長
 - 5 c 期：対面所 慶長
 - 5 d 期：本丸 慶長



10. 伯耆・米子城山上尾根：凝灰岩・流紋岩
- 水の手下方尾根曲輪
 - 水の手門下方曲輪
 - ▲ 水の手曲輪石垣
 - ▼ 本丸南辺石垣
 - ★ 天守台廻り
 - 本丸上
 - 本丸南東鉄門(石垣)
 - ✦ 本丸四重櫓台

第8図 各地石材の矢穴の法量分布



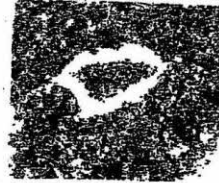
分銅



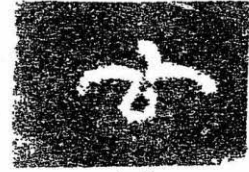
扇に一



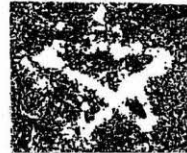
雁



扇



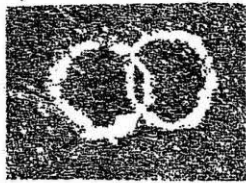
雁



星



雁



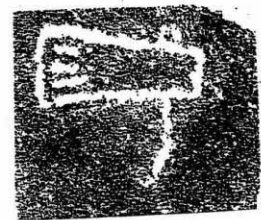
輪違



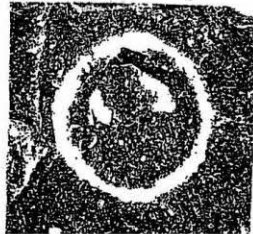
丸に二



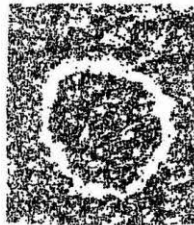
鉞



鉞



丸にい



丸



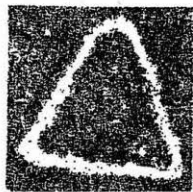
の (○に一カ)



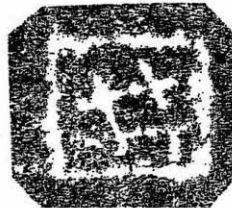
○に一



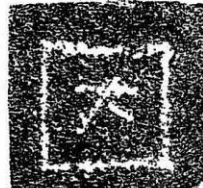
△



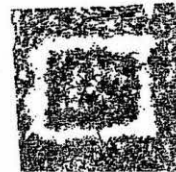
△



□に井



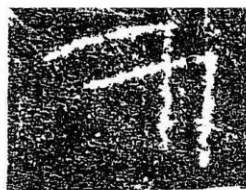
□に大



□



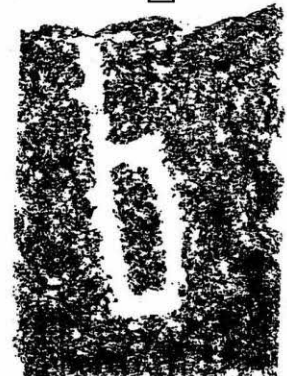
はさみ形



二重の山



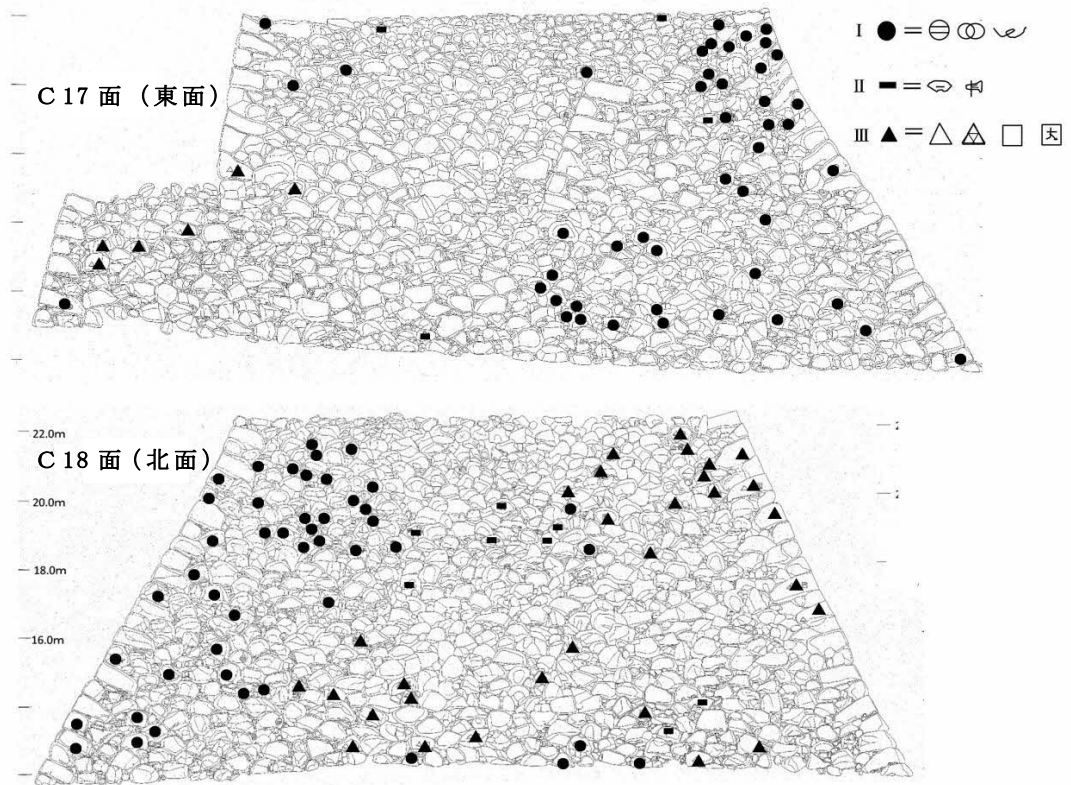
小三郎



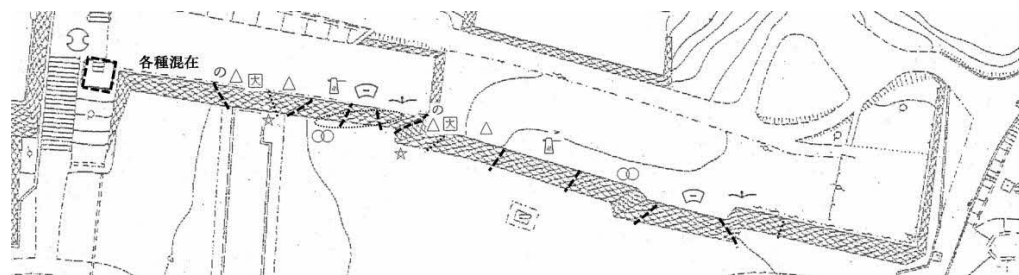
鍵もしくは矢穴割付

0 20cm

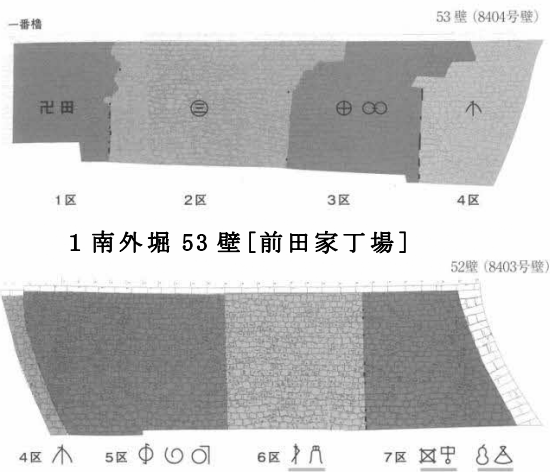
第9図 松江城石垣石材の各種刻印



第 10 図 松江城腰曲輪北東石垣の刻印分布と普請割り



第 11 図 松江城中曲輪石垣の刻印分布と普請割り

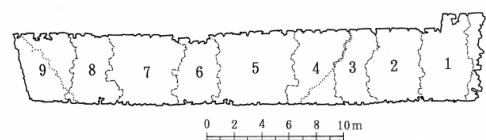


1 南外堀 53 壁 [前田家丁場]

2 南外堀 52 壁 [前田家丁場]

第 12 図 徳川氏大坂城の刻印分布と普請割り

北野 2012 から



1 本丸北東内堀外岸 (搦手馬出・塩蔵構)



2 二の丸東鉄門 C 壁面

第 13 図 名古屋城の刻印分布と普請割り

高田 1999 から